



# 平成25年度第3四半期決算の概要

株式会社 足利ホールディングス  
株式会社 足利銀行

(特に表示がないものについては「銀行単体」の計数を掲載しています)

➤ 第3四半期決算概要	.....	2
➤ 業績見通しに対する進捗状況	.....	3
➤ 業務粗利益・経費	.....	4
➤ 預貸金平残・利回り	.....	5
➤ 業務粗利益の増減要因	.....	6
➤ 貸出金	.....	7
➤ 預金等	.....	8
➤ 個人預り資産・個人金融資産	.....	9
➤ 有価証券	.....	10
➤ 不良債権・与信コスト	.....	11
➤ 自己資本比率	.....	12

# 第3四半期決算概要

## 《足利ホールディングス連結損益》(億円)

	H24/12期 (4~12月)	H25/12期 (4~12月)	前年 同期比
連結粗利益	627	621	△ 5
営業経費	441	435	△ 6
与信関係費用	19	44	25
株式等関係損益	△ 11	92	103
経常利益	168	235	67
四半期純利益	140	226	85

## 《足利銀行単体損益》(億円)

	H24/12期 (4~12月)	H25/12期 (4~12月)	前年 同期比
業務粗利益	619	603	△ 15
資金利益	473	482	9
役務取引等利益	85	103	18
その他業務利益	60	16	△ 43
国債等債券損益	56	13	△ 42
コア業務粗利益	563	589	26
経費	378	369	△ 8
人件費	204	196	△ 7
物件費	154	153	△ 1
コア業務純益	184	220	35
実質業務純益	241	234	△ 6
臨時損益	△ 101	73	175
株式等損益	△ 15	98	114
経常利益	217	289	72
特別損益	△ 1	△ 2	△ 1
四半期純利益	199	285	86
与信関係費用	15	38	23

## 《HD連結とBK単体の差額の内訳》

	H25/12期
四半期純利益の差額	△ 59
銀行子会社業務粗利益	32
HD劣後ローン支払利息	△ 14
HDのれん償却	△ 46
子会社の与信関係費用	△ 9
子会社の経費他	△ 22

### 【足利HD連結】

- ◆ 連結粗利益は前年同期比△5億円の621億円。
- ◆ 営業経費435億円、与信関係費用44億円、株式関係損益92億円等を計上した結果、経常利益は235億円、当期純利益は226億円。

### 【足利銀行単体】

- ◆ 資金利益、役務取引等利益が増加する一方、国債等債券損益が減少したことから、業務粗利益は前年同期比△15億円の603億円、コア業務粗利益は589億円(同比+26億円)。
- ◆ 経費が369億円(同比△8億円)に減少し、コア業務純益は220億円(同比+35億円)。
- ◆ 与信関係費用が38億円(同比+23億円)に増加する一方、保有株式の売却により株式等損益98億円を計上したことから、経常利益は289億円(同比+72億円、四半期純利益は285億円(同比+86億円))。

※与信関係費用＝一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額  
－(償却債権取立益＋貸倒引当金戻入益)

# 業績見通しに対する進捗状況

## 《足利ホールディングス連結損益》（億円）

	25年度 業績見通し	H25/12期 (第3Q累計)	進捗率
経常収益	1,020	826.0	81.1%
連結粗利益	806	621.0	77.2%
経費	560	427.0	76.4%
実質業務純益	246	194.0	78.9%
与信関係費用	81	44.0	54.9%
株式等損益	80	92.0	115.7%
経常利益	240	235.0	98.3%
当期純利益	200	226.0	113.0%

◆ 今後の与信関係費用を保守的に見込んでいること、税務上の繰越欠損金の減少に伴う繰延べ税金資産の減少(税金費用の増加)が見込まれることから、通期業績予想は変更せず。

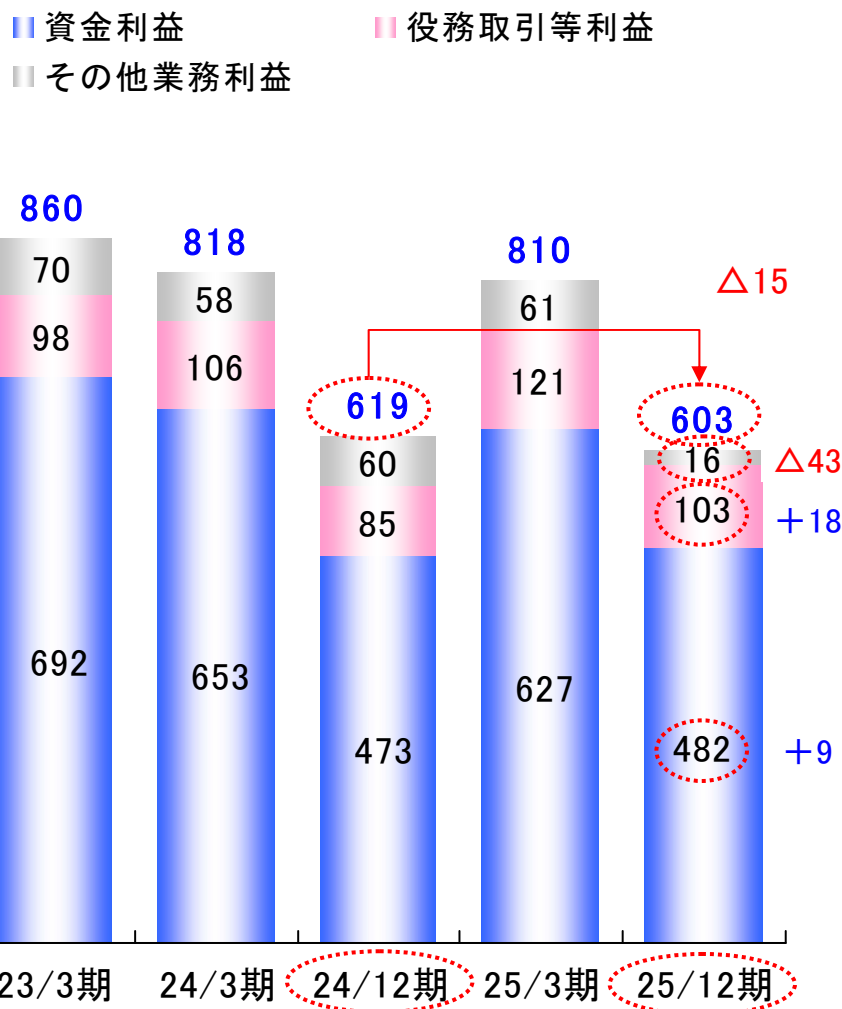
## 《足利銀行単体損益》（億円）

	25年度 業績見通し	H25/12期 (第3Q累計)	進捗率
業務粗利益	782	603	77.2%
経費	483	369	76.5%
コア業務純益	286	220	77.2%
与信関係費用	74	38	51.9%
株式等損益	85	98	116.2%
経常利益	310	289	93.4%
当期純利益	276	285	103.5%

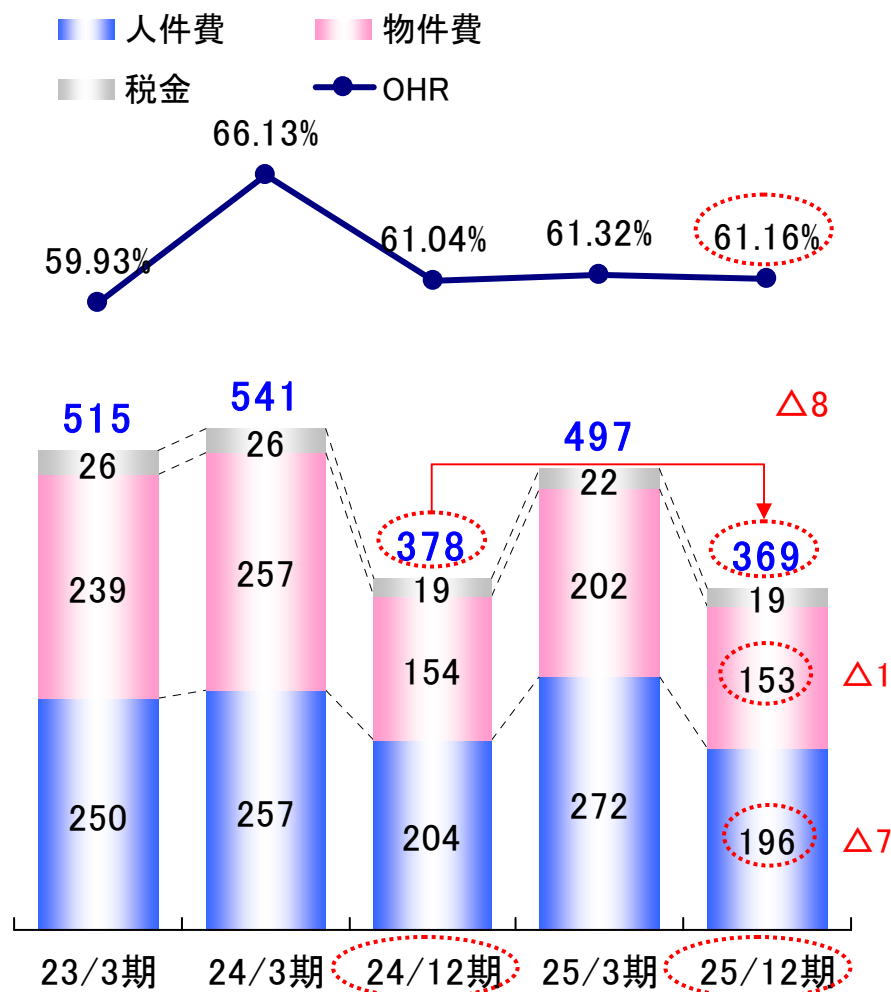
# 業務粗利益・経費

- ◆ 業務粗利益は、資金利益(前年同期比+9億円)と役員取引等利益(同比+18億円)が増加したものの、国債等債券損益等その他業務利益が減少(同比△43億円)したことから、前年同期比△15億円の603億円。
- ◆ 経費は、人件費が減少、物件費が前年同水準となったことから、前年同期比△8億円の369億円、経費率(OHR)は61.16%。

《業務粗利益の推移》(億円)



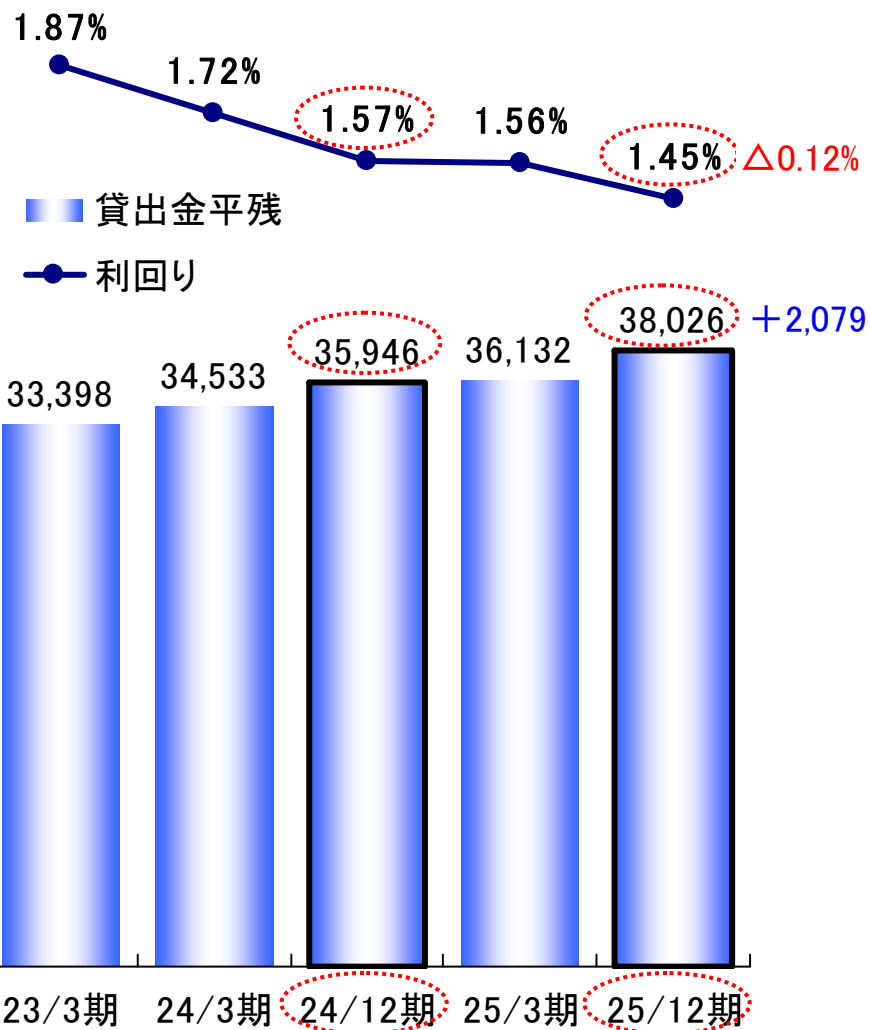
《経費・OHRの推移》(億円)



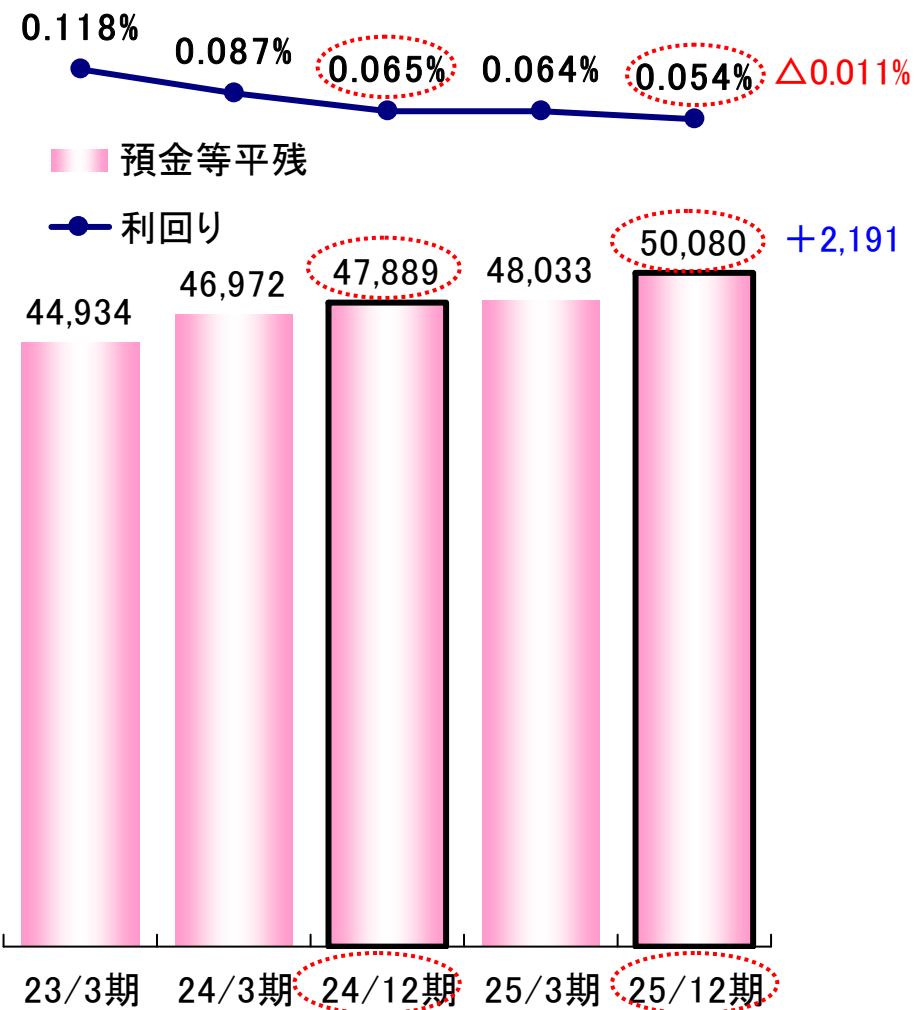
# 預貸金平残・利回り

- ◆ 貸出金平残は、前年同期比+2,079億円の3兆8,026億円。利回りは、相対的に金利の低い住宅ローンや公金向け貸出が増加したことを受け、同比 $\Delta 0.12\%$ の1.45%。
- ◆ 預金等(預金+譲渡性預金)は、前年同期比+2,191億円の5兆80億円、利回りは同比 $\Delta 0.011\%$ の0.054%。

《貸出金平残・利回り》 (億円)



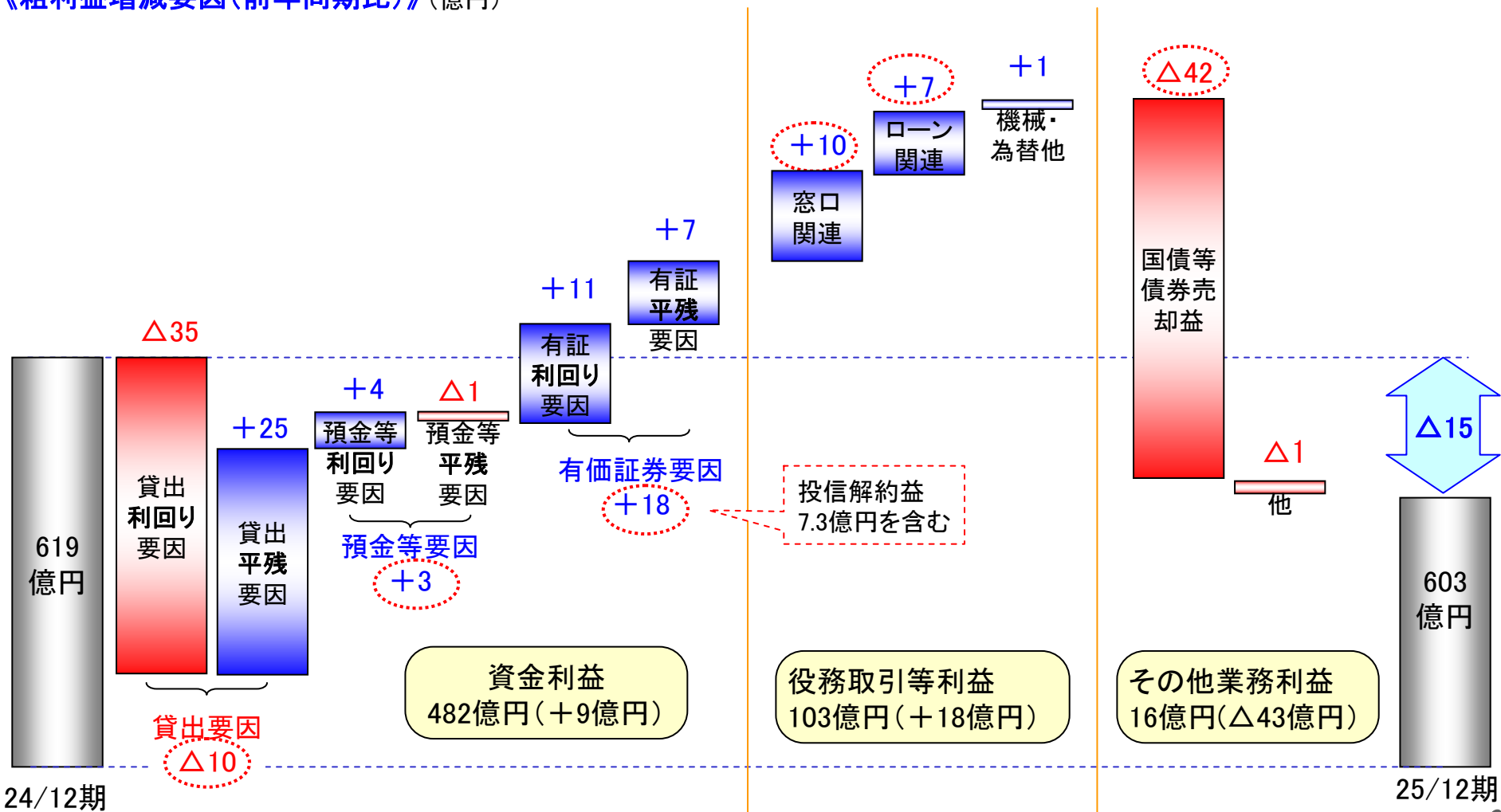
《預金等平残・利回り》 (億円)



# 業務粗利益の増減要因

- ◆ 資金利益+9億円(前年同期比)のうち、貸出要因は△10億円、預金等要因+3億円、有価証券要因+18億円。
- ◆ 役務取引等利益は、投信・保険等の販売(窓口関連+10億円)やローン関連手数料の増加(+7億円)を主因として+18億円。(⇒コア業務粗利益ベースでは+26億円、投信解約益除きでも+19億円)
- ◆ 国債等債券売却益等その他業務利益△43億円により、業務粗利益全体では△15億円の減少。

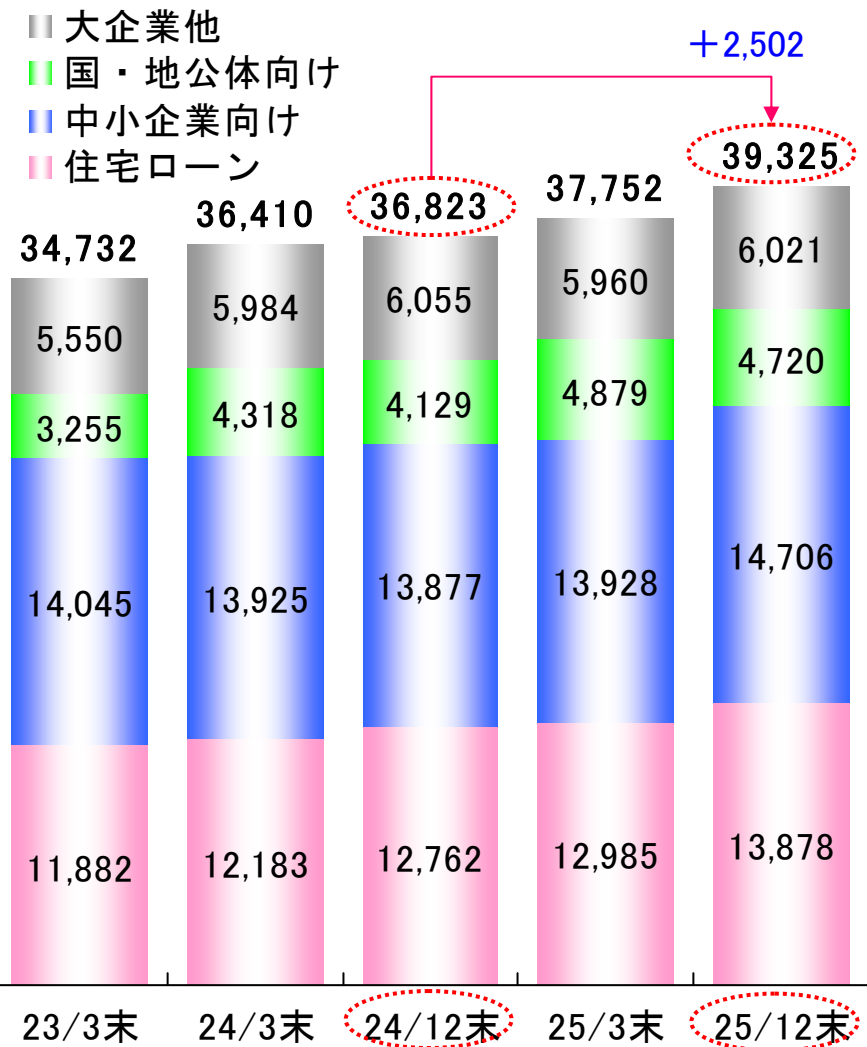
《粗利益増減要因(前年同期比)》(億円)



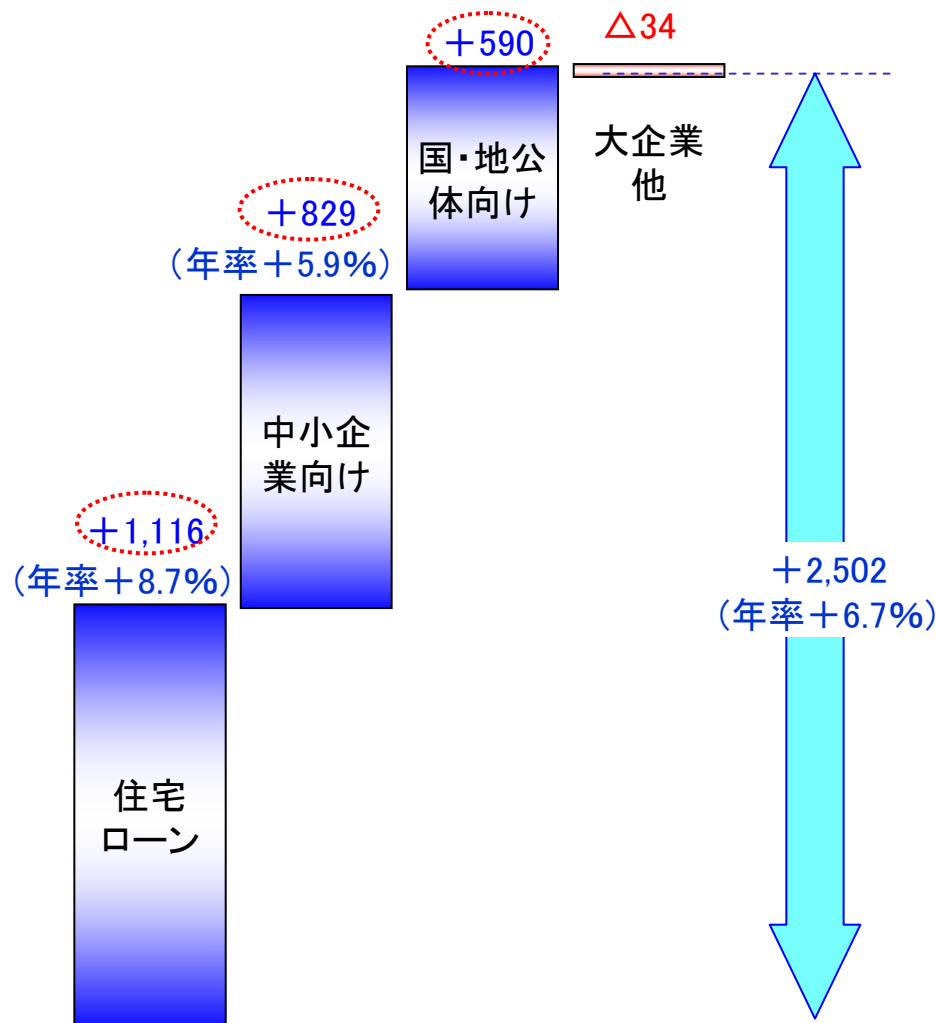
# 貸出金

- ◆ 貸出金末残は、前年同期末比+2,502億円(年率+6.7%)の3兆9,325億円。
- ◆ 住宅ローンが同比+1,116億円(年率+8.7%)と大きく増加したほか、中小企業向け貸出、国・地公体向け貸出ともそれぞれ増加。

《貸出金残高(末残)》(億円)



《貸出金残高の増減内訳(前年同期比)》(億円)

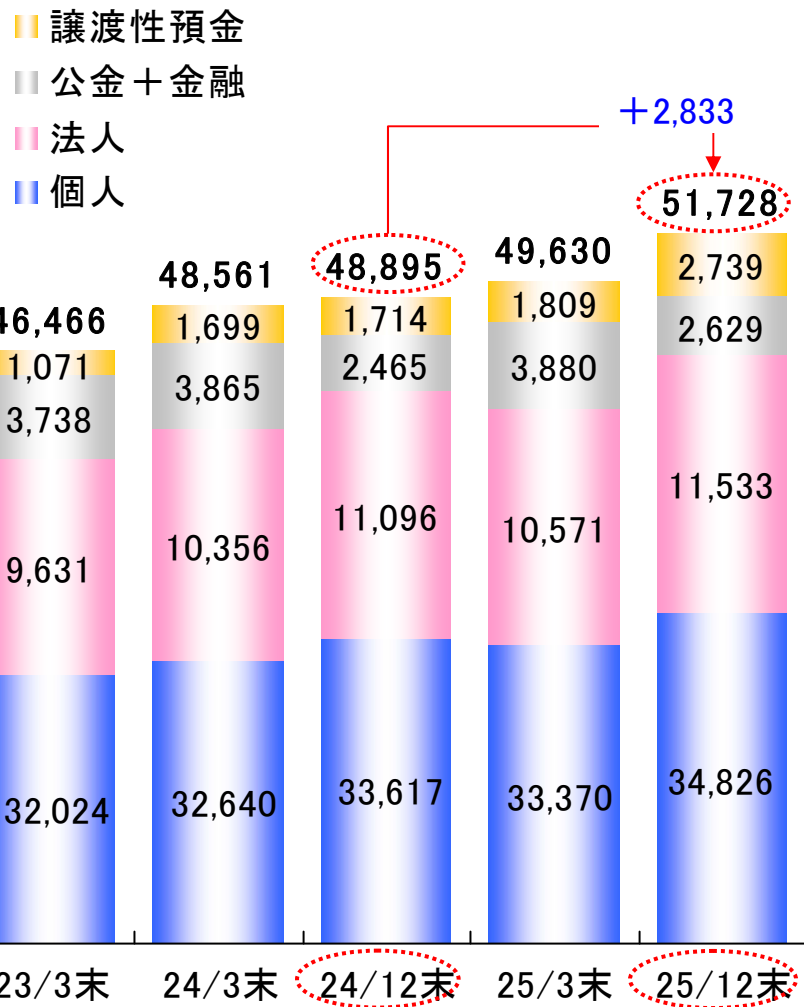




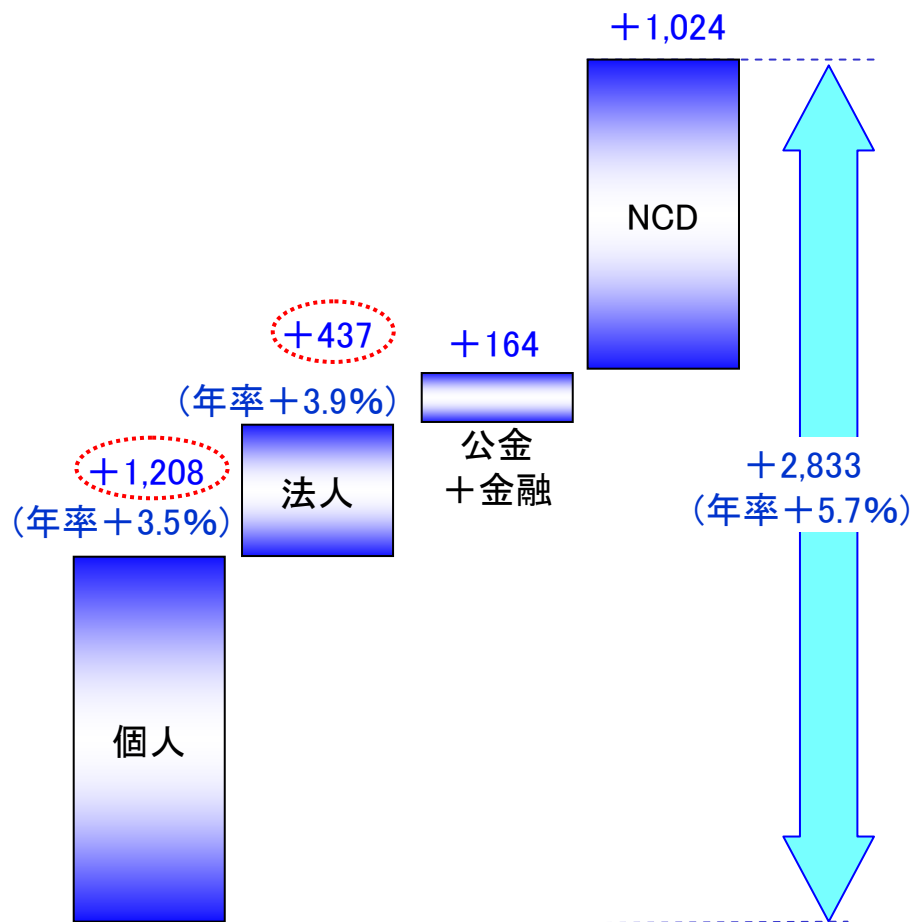
# 預金等

- ◆ 預金等残高(=預金+譲渡性預金)は、前年同期末+2,833億円(年率+5.7%)の5兆1,728億円。
- ◆ 個人預金が同比+1,208億円(年率+3.5%)と大きく増加したほか、法人預金、公金+金融、譲渡性預金ともそれぞれ堅調に増加。

《預金等残高の推移(末残)》 (億円)



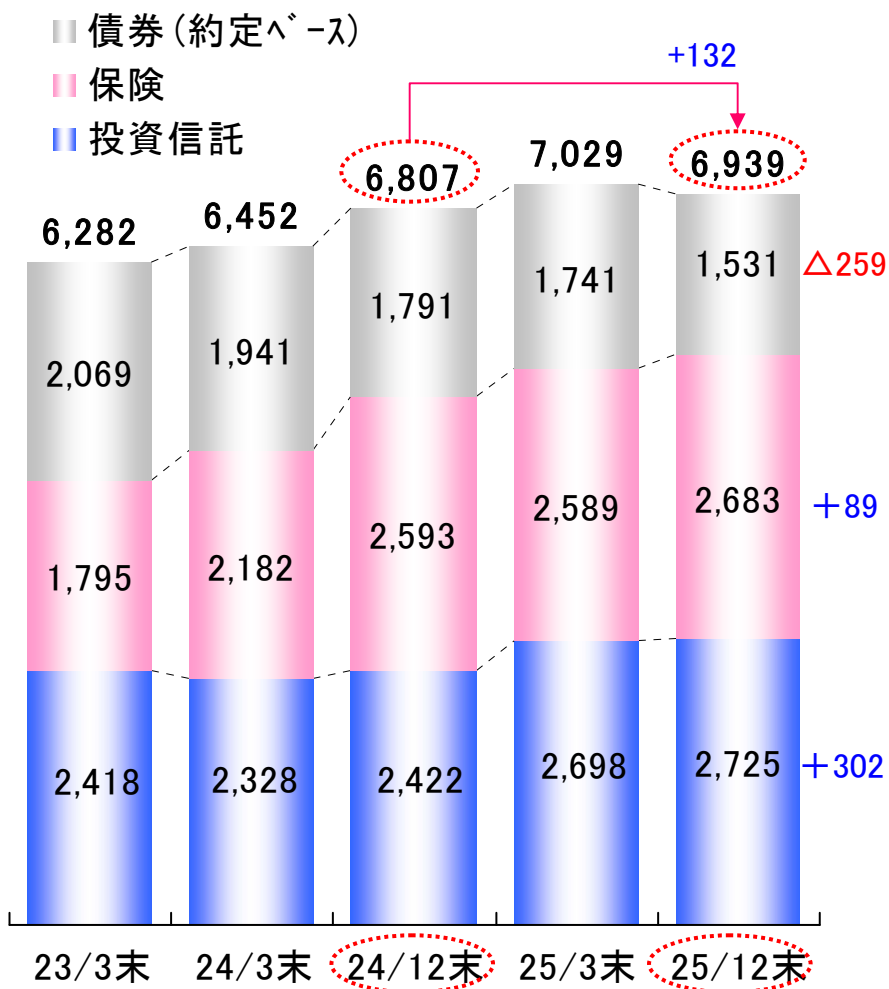
《預金等残高の増減内訳(前年同期比)》 (億円)



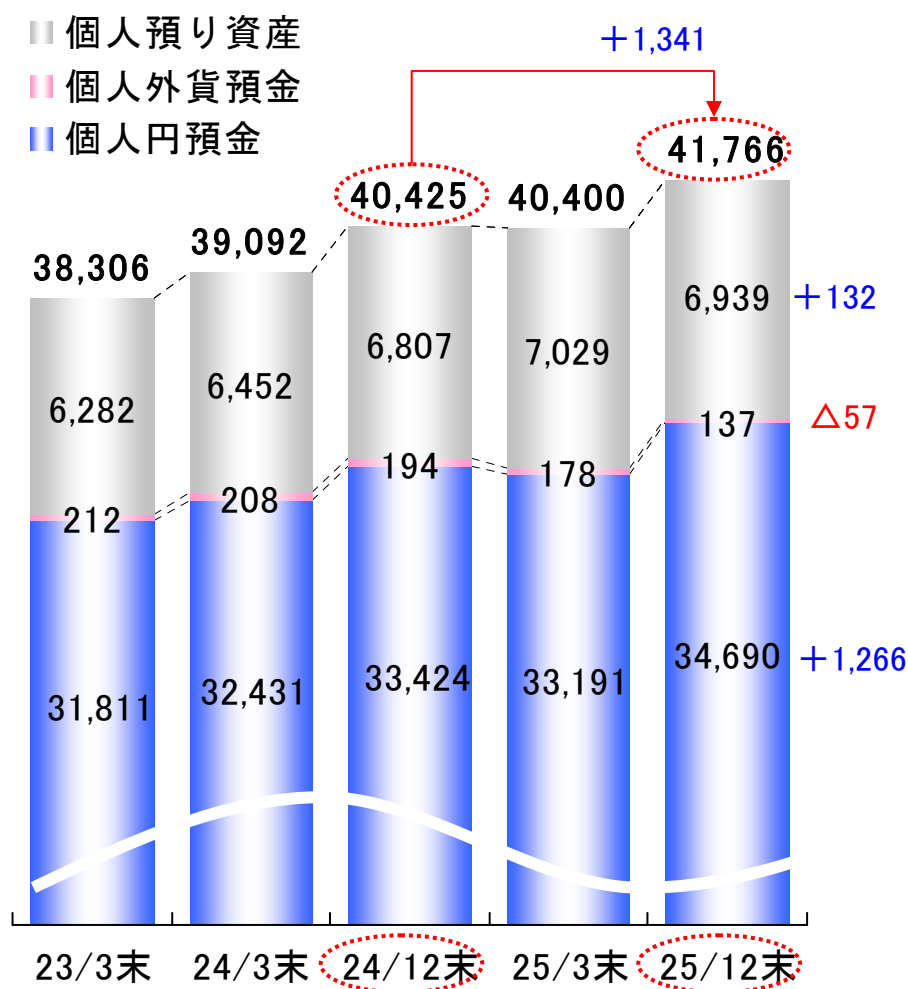
# 個人預り資産・個人金融資産

- ◆ 個人預り資産は、前年同期末比では、投信と保険の増加を主因として、同比+132億円の6,939億円。
- ◆ 個人預金と個人預り資産を合わせた個人金融資産残高は、同比+1,341億円の4兆1,766億円。

《個人預り資産残高の推移(末残)》 (億円)



《個人金融資産残高の推移》 (億円)

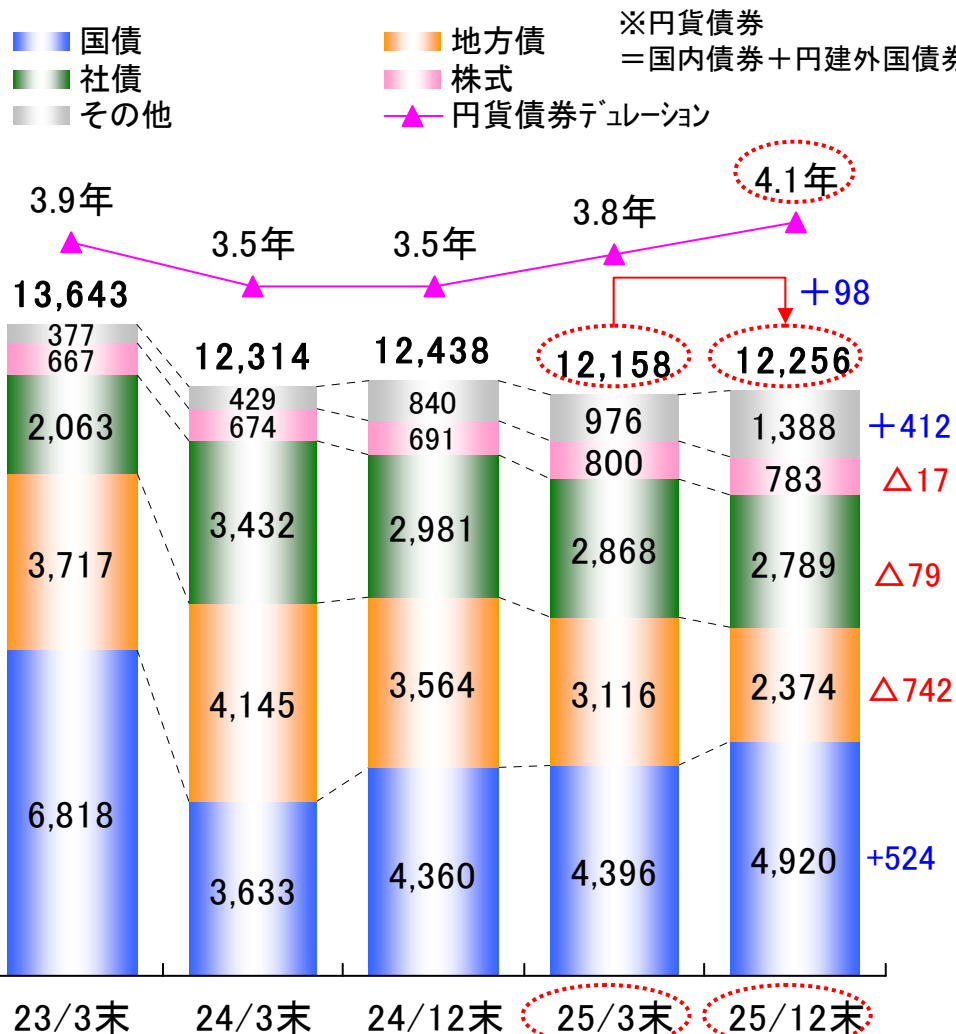


※保険＝個人年金保険＋終身保険＋学資保険

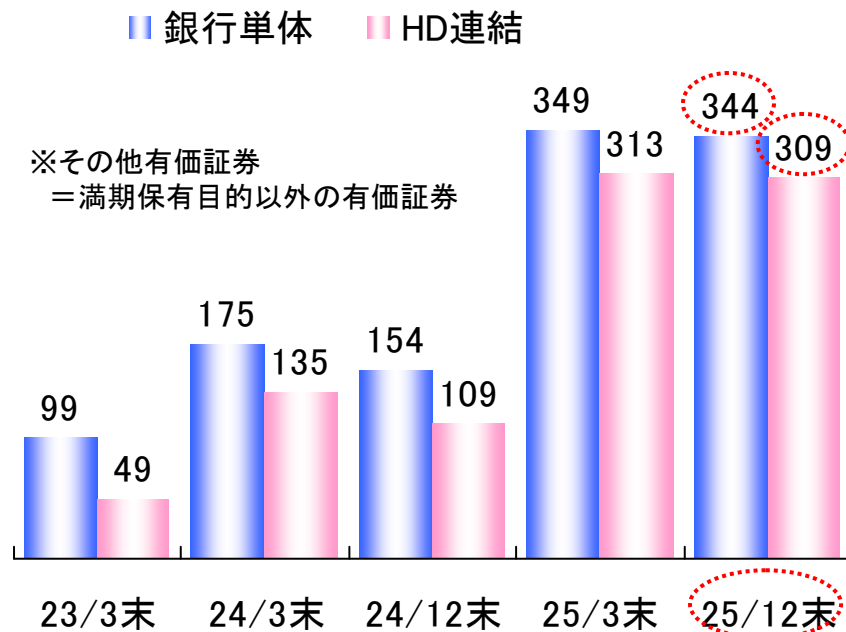
# 有価証券

◆ 有価証券残高は、平成25年3月末比では、+98億円の1兆2,256億円。国債が4,920億円(同比+524億円)に増加し、社債が2,374億円(同比△38億円)、地方債が2,789億円(同比△72億円)に減少。円貨債券のデュレーションは4.1年。株式は、評価損益の改善の一方、保有銘柄の一部売却により783億円(同比△5億円)に減少。その他の証券は、外国債券の積み増し等により、1,388億円(同比+412億円)に増加。

《有価証券残高(末残)》(億円)



《その他有価証券の評価損益の推移(BK単体・HD連結)》(億円)



【BK単体】

	25/12末	25/3末比
評価損益	344	△5
債券	34	△81
株式	278	45
その他	31	31

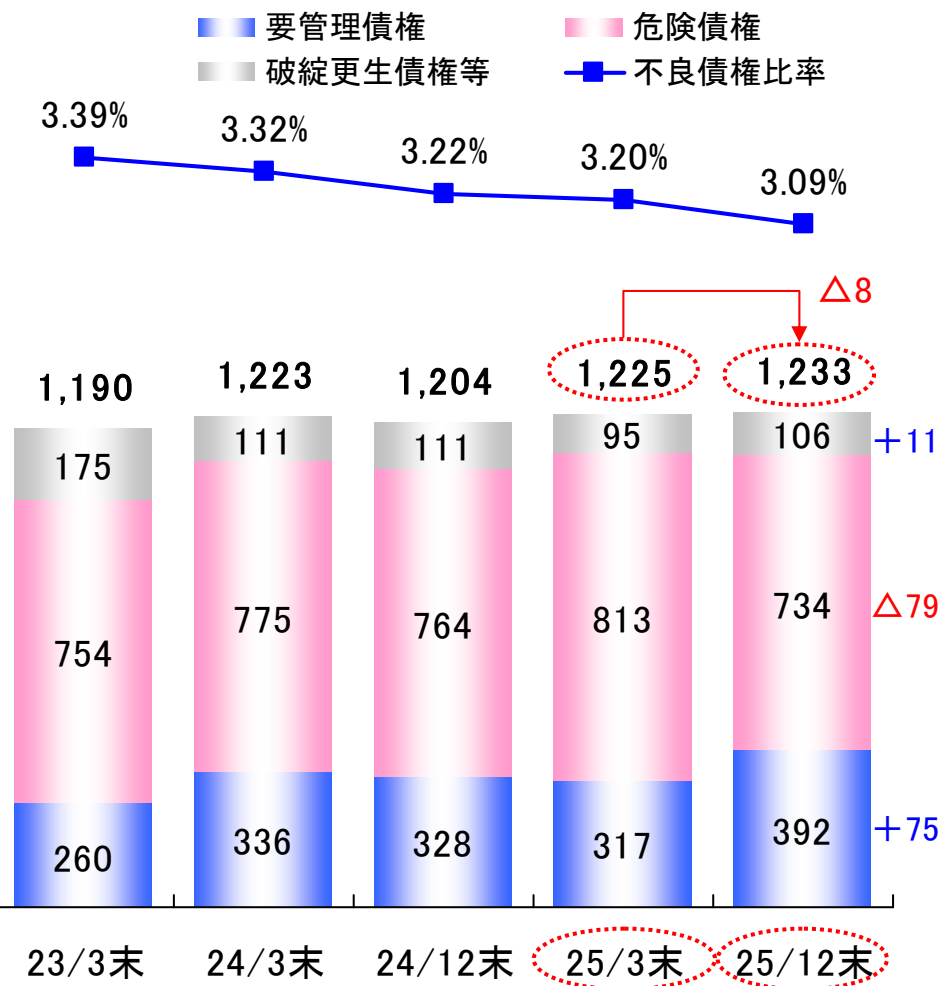
【HD連結】

	25/12末	25/3末比
評価損益	309	△4
債券	34	△81
株式	236	51
その他	38	26

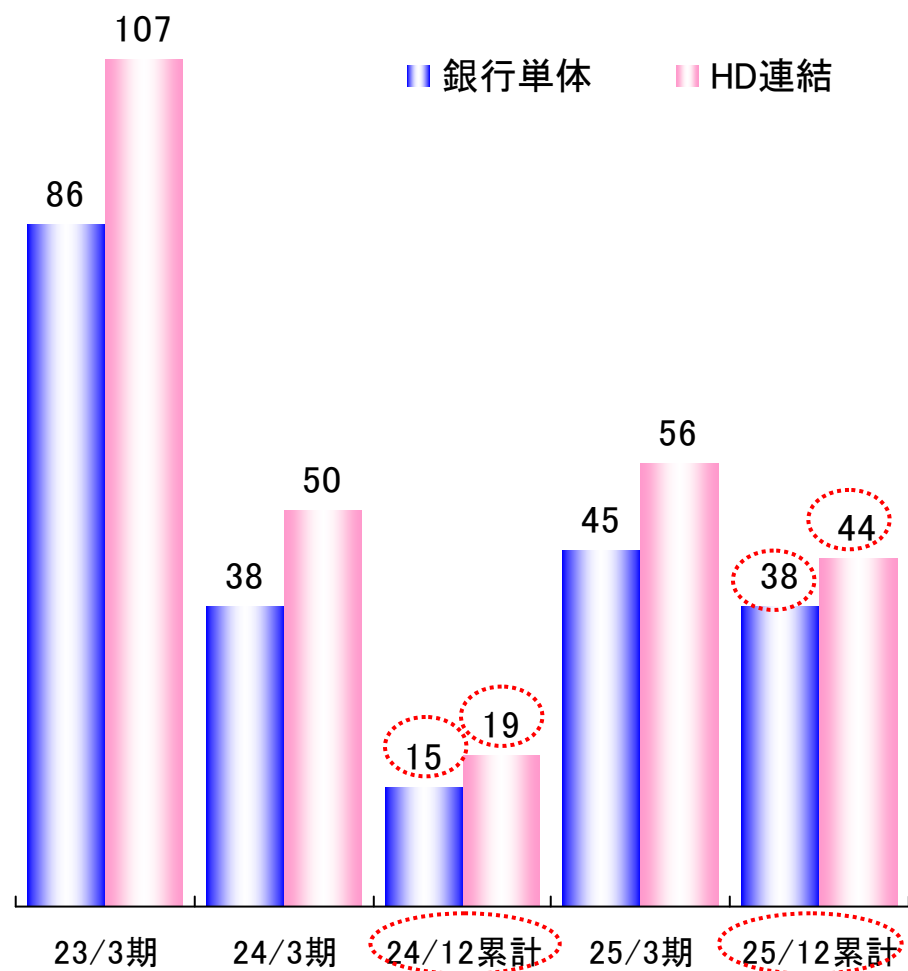
# 不良債権・与信コスト

- ◆ 不良債権(金融再生法開示債権)残高は、平成25年3月末比では、要管理債権が増加する一方、危険債権が減少し、全体では△8億円の1,233億円。不良債権比率は、同比△0.11%の3.09%に低下。
- ◆ 与信関係費用は、個別貸倒引当金および一般貸倒引当金の繰入等により、足利銀行単体で38億円(=中間期29億円+第3四半期9億円)、HD連結で44億円。

《金融再生法開示債権の推移》(億円)



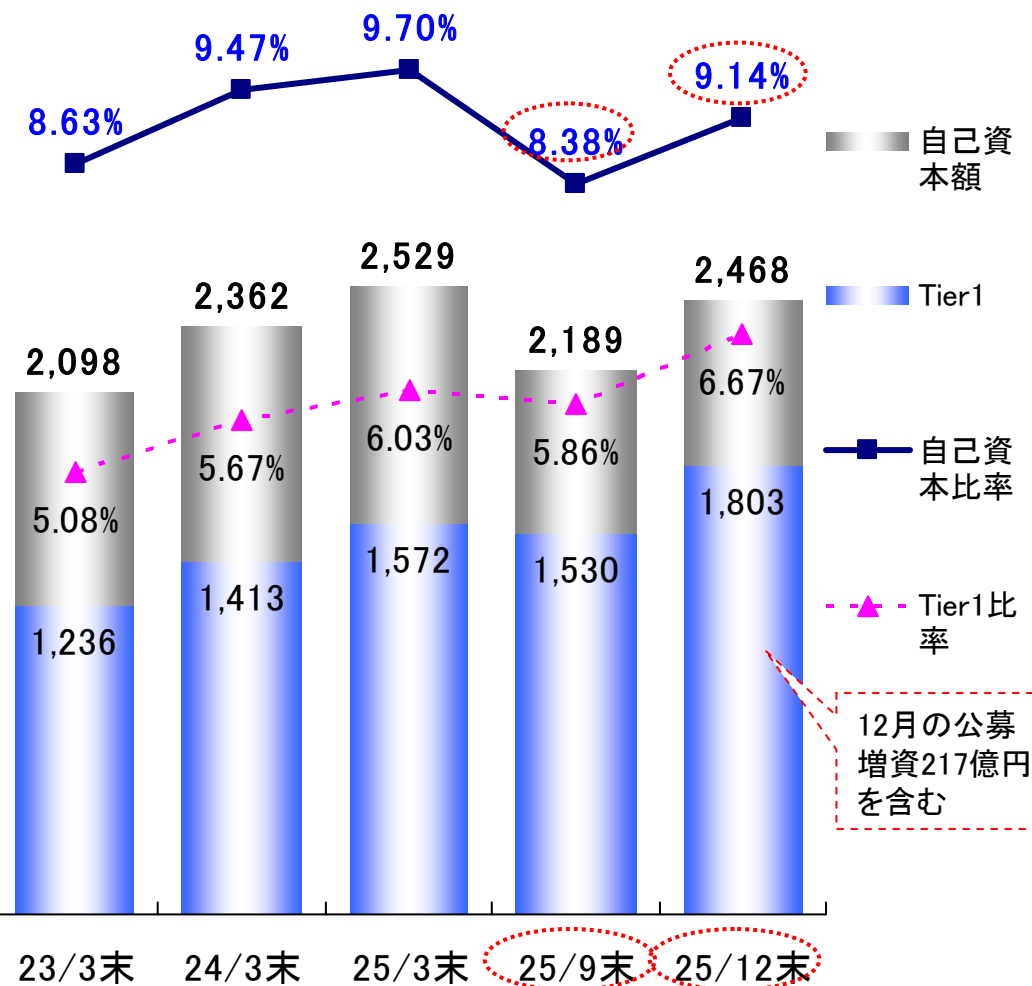
《与信関係費用》(億円)



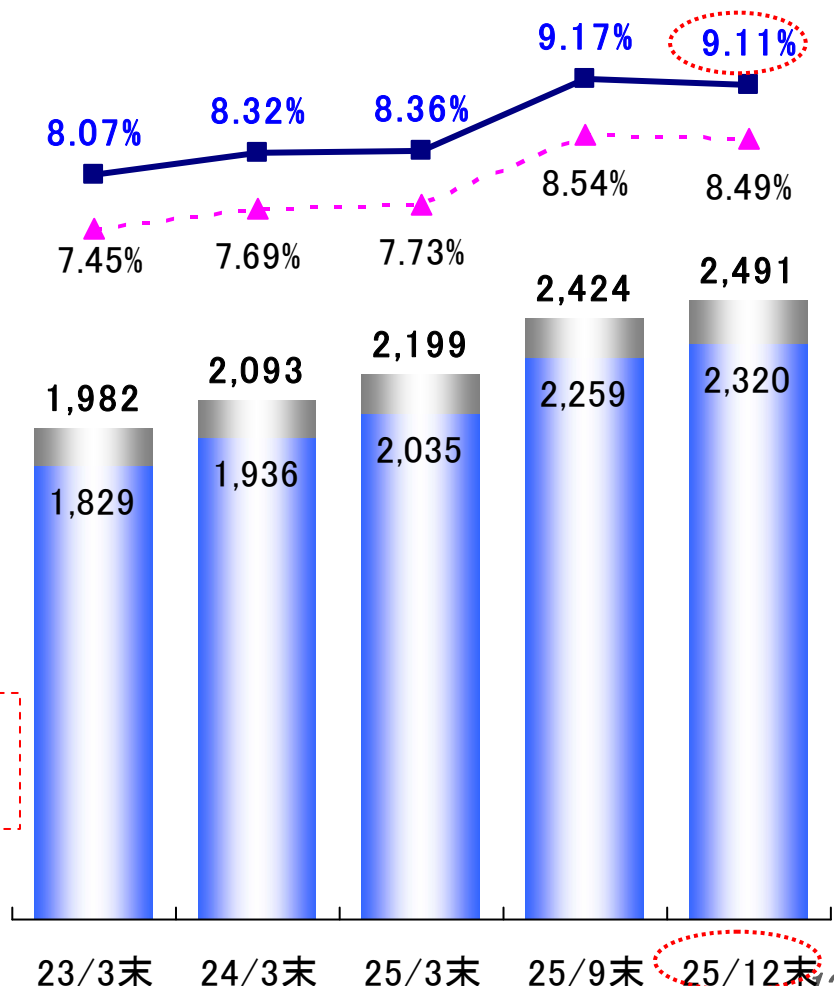
# 自己資本比率

- ◆ HD連結の自己資本比率は、利益の積み上げの一方で、劣後ローン300億円の残高減少(25年6月)、第1種優先株式250億円の取得・消却(25年9月)等により、25年9月末で8.38%(25年3月末比△1.32%)に低下。
- ◆ 25年12月末は、IPO時の公募増資217億円を含むため、Tier I が一時的に増加しているが、26年1月に第1種優先株式250億円の取得・消却に充当済。

《連結自己資本比率【HD連結】》 (億円)



《単体自己資本比率【BK単体】》 (億円)





事前に株式会社足利ホールディングスの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。